



<8月の行事等について>

- ・大学生の保育実習や高校性お仕事体験で学生が子どもたちと一緒に生活します。ご協力お願いいたします。
- ・8月13日から15日は、1号認定児は夏休みとなります。
- ・8月26日(土)に保育参観日を予定しています。参観の順番等は変更になることがありますが、5月に行った開催方法(参加人数等)で考えています。詳細については後日お手紙で配布致します。

火の取り扱いに気をつけましょう



夏の楽しみの一つでもある花火。ご家庭でも子どもと一緒に手持ち花火や吹き上げ花火をする機会があると思います。楽しい花火も正しく使用しないと火災に繋がります。先日の避難訓練の時に子どもたちにも話しました。子どもたちも花火など火を使うことは火災に繋がることをわかっている様子でした。

<花火をする時の約束> ○子どもだけで行わず、大人と一緒にする ○水の入ったバケツを準備する
○花火を人や物に向けない

※子どもの手が届くところに火がつくもの(ライターやマッチ)がないか確認しておくといいですね。

火災は命だけでなくたくさんの大切なものを奪うことになります。

広島平和記念日

今年も8月6日が近づいてきました。被爆地である広島に生まれ育った子どもたちが、平和について考え発信できるように育って行って欲しいなと願います。

先日、広島県外出身の職員と広島の平和や原爆などが描かれた絵本の話をしていると「知らないことばかりです」「いい機会なので読んでみます」という声がありました。広島に生まれ育った職員も含め、戦争を知らない世代の我々も平和について伝えることや考えることに難しさはありますが、子どもたちには平和について考える機会の日として、年齢にあった形で伝えたり、考えたりできればと思います。「大好きな人が側にいる」「自分が愛されている」「友だちとボール遊びや水遊びができる」「おいしいご飯がいっぱい食べられる」ことも大きな意味での『平和』ですね。他にも子どもたちが好きな虫探しの中で「小さい虫にもみんなと同じように命があること」「みんなと同じように大切な命」「お部屋に連れて帰るなら世話の仕方をしっかり知ってから」など担任からも命について話しています。虫探しや飼育等を通して、子ども同士で考えたり、命の大切さや優しく接する気持ちに目を向けるきっかけになったりして欲しいなと思います。

こども園全体の取組として、今年、『へいわってどんなこと: 浜田桂子著: 童心社発行』の絵本を中心に子どもたちと平和とはどんなことだろうと考えていきます。

ご家庭でも、「平和について」「自分の気持ち」「人の気持ち」「仲よくすること」など話し合う機会を作ってくださいと嬉しいです。また、平和の折り鶴についてもご家庭と協力して折っていき、千羽鶴にして平和公園に持って行きたいと思います。ご家庭でも一緒に折り鶴を折って、こども園に持って来てください。ご協力よろしくお願いたします。

